

快適な生活環境の維持向上の推進に向けて

東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 課長 木村 秀嘉

平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

また、去年は、協会創立50周年を迎えられましたこと、重ねてお慶び申し上げます。

東京都ペストコントロール協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から東京都の環境衛生行政に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。とりわけ、蚊媒介感染症対策では、都内25か所で実施している蚊の発生状況等の調査において貴協会の豊富な経験と高度な技術力は欠かせないものとなっております。また、「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」を貴協会と締結していることで、平時における備えと感染症発生時の迅速な対応が可能となっており、感染症の防御体制の構築に引き続き御協力をお願い申し上げます。

さて、近年、大雨などによる水害が多発しており、去年は、都内目黒区においても浸水被害が発生しました。被災地では消毒等の生活環境の改善や、廃棄物から発生する衛生害虫への対策など、PCOに関わる多くの対応が求められます。今後も大規模な自然災害の発生が危惧される中、感染症予防衛生隊を組織している貴協会の役割は、ますます大きくなると思います。地域の公衆衛生の維持・向上、そして住民の健康と安全確保のためにさらなるお力添えをお願いいたします。

東京都は、今年のラグビーワールドカップ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、ますます多くの外国人旅行者をお迎えすることになります。

同時に、人の移動や物流が活発化し、トコジラミやヒアリの侵入、デング熱やジカウイルス感染症の輸入感染等の増加が懸念されております。

貴協会の永年にわたる現場で培われた豊富な知識や技術、科学的知見に裏打ちされた専門性の高い活動により、都民の衛生的で快適な生活環境の維持向上と推進に御尽力をいただけるものと期待しております。

平成から新しい元号に改元する本年が、貴協会にとりまして創立80年、100年へ向けての新たなスタートの年となりますよう、また、会員の皆さまの御健康と御活躍を祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。